

9月1日は防災の日

問 危機管理課 ☎(582)1119 📠(583)5066

今年には6月に発生した大阪府北部地震や米原市での竜巻、7月に発生した西日本豪雨など、さまざまな災害が全国各地で発生しています。幸い、守山市では大きな被害はありませんでしたが、いつ大きな災害に遭うかはわかりません。災害による被害を軽減するには、行政が防災体制を強化する「公助」とともに、自分の命は自分で守る「自助」、地域の安全は地域で守る「共助」を高めることが大切です。この機会に、それぞれの観点から防災について考えてみましょう。

自分でできること（自助）

1 避難所や避難経路を確認しましょう

いざというとき、どこに避難すればよいか、安全なのかを知っておくことは非常に大切です。12・13頁で避難所マップを掲載していますので、自分たちの避難所がどこなのかを確認しておきましょう。

2 緊急時の集合場所や家族の連絡先を確認しましょう

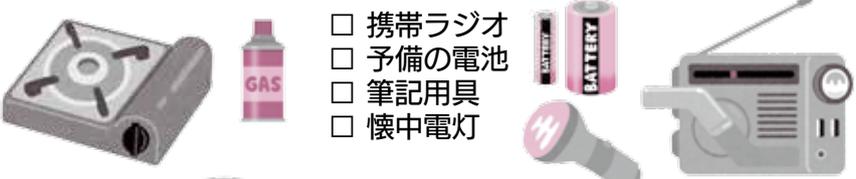
緊急時、離れ離れになったらどこに集まるか、またどのようにして連絡を取り合うかを確認しておきましょう。また、災害用伝言ダイヤル(電話番号171)で声の伝言板が利用できることも覚えておきましょう。

3 家のまわりや家具などで危険がないか確認しましょう

地震が起こったときに、テレビや食器棚などの家具が転倒しないようきちんと固定できているか、ブロック塀にひびが入っているなど災害が起こったときに危険な状態でないかなどを確認しておきましょう。また、万一危険だと感じたときはすぐに補修するなどしましょう(20頁に「ブロック塀の撤去などへの補助を実施」について掲載)。

4 非常時に持ち出すものを確認しましょう

急な避難に備えて、3日分を目安に非常持ち出し品を常備しておきましょう。また、賞味期限や使用期限が切れていないかも確認しておきましょう。下記チェックリストを参考にしてください。

安全対策	<input type="checkbox"/> 救急医薬品 <input type="checkbox"/> 防災ずきんや帽子		<input type="checkbox"/> 常備薬の予備 <input type="checkbox"/> 底の厚い靴	
食料関係	<input type="checkbox"/> 水／1人1日3ℓを目安 <input type="checkbox"/> 鍋や水筒 <input type="checkbox"/> 乾パンやクラッカー、缶詰		<input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> 粉ミルク、ほ乳びん ※赤ちゃんがいる場合	
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預金通帳や有価証券		<input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 連絡カードや身分証明書	
日用品	<input type="checkbox"/> 包装用ラップ <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> 大きなゴミ袋 <input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 予備の電池 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 懐中電灯	
衣類関係	<input type="checkbox"/> 上着・下着・くつ下 <input type="checkbox"/> 寝袋		<input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 防塵マスク	<input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> タオル・毛布